

課題名 (タイトル) :

生命分子の実験的制限付き構造決定

利用者氏名 : 山崎 俊夫

所属 : ライフサイエンス技術基盤研究センター、構造・合成生物学部門、NMR 施設

1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係
タンパク質の構造を求めるために NMR などからの断片的構造情報を有効利用するためのプログラム開発と、応用を継続する予定だった。
2. 具体的な利用内容、計算方法
ほとんど使わなかった。
3. 結果
なし。
4. まとめ
なし。
5. 今後の計画・展望
NMR 化学シフトの構造決定への利用が重要なテーマになる。計算手段の整備をしたい。
6. 利用がなかった場合の理由
gwmpc を有効に利用する方法を思いつかなかった。
自前 desktop PC での利用で足りた。今後利用が増える場合に、gwmpc の併用が必要になる。